

ティアニー先生のベスト・パール

ローレンス・ティアニー 著

松村正巳 訳

＜書評者＞ 松村真司（松村医院院長）

指導医が学生や研修医のプレゼンテーションを聞きつつ、ホワイトボードに鑑別診断を記入していく。現在、わが国の外来カンファレンスではおなじみの光景であるが、そのルーツはティアニーかもしれない。

筆者が研修を行った病院にティアニーが臨時講師として滞在したときのカンファレンスで、ホワイトボードいっぱいに病歴や身体所見のキーワードをマーカーで書きとどめつつ、思考回路をひもとくその姿を初めて見たときの衝撃は忘れられない。病歴や身体所見の情報をプレゼンターとの絶妙のやりとりで次々と引き出していく。プレゼンターから出てこない鑑別診断を加えながら、情報のピースを組み合わせ、症例をひもといていくプロセスはエキサイティングですらあった。

ティアニーはカンファレンスの度に、過去の実験とエビデンスに基づいた箴言＝クリニカル・パールを残し、これらは初学者であった筆者の心に強く刻まれた。例えば、本書にも載っている「財布生検の施行は最も費用のかからない先端巨大症の診断法である」も、かつて参加したカンファレンスでティアニーが自分の上着のポケットから実際に財布を取り出しつつ披露したパールの1つである。その姿を一度目にすれば、それは何冊の文献よりもくっきりと心に残り、時を経ても輝きを失わない「宝石」になる。どうやら、これらの箴言が強く心に響いたのは、私だけではなかったようである。

この度、ティアニーのベスト・パールを集めた書が世に出ることとなった。本書には血管性疾患、感染症、腫瘍性疾患、自己免疫性

疾患、代謝性疾患、中毒、先天性疾患など幅広い分野から 117 ものパールが収められ、まさに臨床の宝石箱となっている。その多くは、症例カンファレンスでよく遭遇する、発熱、全身倦怠感、呼吸困難、体重減少など、全身性疾患における鑑別診断の過程で生まれたものであり、ティアニーの鑑別診断の奥義が満載である。ぜひ、本書は本棚には並べず、カンファレンス室の机の上にでも置いておいてほしい。そして、似たような症例に遭遇したら、「ティアニー先生の本の〇〇ページに載っていたね」と、参加者で共有しよう。そうすることによって、いつものカンファレンスはたちまち、まるでティアニーがそこにいるかのようなエキサイティングなカンファレンスに変貌するに違いない。

●A5 頁 146 2011 年
定価 2,625 円
(本体 2,500 円＋税 5%)
[ISBN978-4-260-01465-6]
医学書院 刊